

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	南街公民館事業			
担当部署・課長名	中央公民館	課	南街公民館	係 課長名 佐伯 芳幸

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1-2	5-3	
【施策名】生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立	総合計画書(ページ)	35	110	

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ⁴	社会教育費	目 ²	公民館費	事業 ²	南街公民館事業費
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	------	-----------------	----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民	南街・桜が丘・向原地区に居住する市民の数(30年4月1日現在) → 公民館利用は地域制限はないが、近隣住民の人数とした。
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]地域で、学習の場に参加できる。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(31年3月31日現在)
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤南街公民館だよりの発行	①利用者連絡会等開催回数(利用連・利用懇) ②講座開催回数 ③イベント開催回数 → ④施設の利用率 ⑤南街公民館だよりの発行回数	

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	32,694	31,126	32,353	/
	成果指標	②の数値	人	①	2,995	① 2,621	① 2,266
				②	30,298	② 28,505	② 32,218
				③	119	③ 109	③ 119
目標	②の目標値	成果指標(②)が増加することを目標とする					
	目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値		① 28 ② 32 ③ 4 ④ 69.34% ⑤ 3	① 28 ② 36 ③ 4 ④ 68.66% ⑤ 3	① 23 ② 36 ③ 4 ④ 70.65% ⑤ 3	/	/

3 経費	事業費(実績)		円	2,971,026	3,378,136	3,411,356	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	2,822,766	3,240,616	3,242,426	
		特定財源	円	148,260	137,520	168,930	
		(うち受益者負担)	円	148,260	137,520	168,930	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	16,534,000	16,506,000	16,488,000	
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	19,505,026	19,884,136	19,899,356		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	昭和46年6月に市内初の公民館として開館した。それまで、講座を市役所、学校、民間施設などで開催してきたが、社会教育活動の拠点となった。また、同年、美術会、写真愛好会、社交ダンスクラブ、手工芸連盟、茶道連盟が結成され、さらに、文化協会(7団体:花道、書道、手工芸、美術会、茶道、写真愛好会、社交ダンス)が結成された。市民の生涯学習の充実などを目的としている。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 施設の貸出について、インターネット予約を平成27年10月から開始した。	

仕 事 の 内 容	南街公民館事業			
担当部署・課長名	中央公民館	課	南街公民館	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	①②③⑤⑥ (市報・市HP・地区館だより(ハロー公民館)・フェイスブックなど 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 同じ事業(イベント)を毎回同じ形の協働(役割分担)にしていると、固定化し物事が発展・進化しにくくなる。毎年アイデアを出し合うことや、実施後に反省として問題点などを共有していく必要がある。			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート「7 課題(2)」の内容 公共施設予約システムの導入により、利用グループと公民館が直接コミュニケーションを取る機会が減少し、公民館からの働きかけなどが届きにくい現状がある。利用者連絡会との連携やその他の工夫が必要とされる。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 毎年実施している、公民館主催の公開講座「グループ活動講習会」のテーマを公民館の基本理念や存在意義の学習及び、利用者同士がタテとヨコに繋がりが広がっていくことに設定し実施した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 生涯学習施設、地域活動の拠点としての公民館の本旨を利用者に伝えながら、個人の学習や満足に留まらず、人と人との繋がりや、継続した学びとなるように働きかけ続けて行く。			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) 主催講座や、利用者懇談会、グループ活動講習会など利用者と直接関わる場、機会を大切にしながら継続して積極的にコミュニケーションを図る。 ポスターなどの掲示物等で常に目に触れられるようにする。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 各事業への参加者の数を増やすと共に、公民館利用の経験が浅い方にも参加してもらえるようにPR方法の改善や、各事業のテーマ設定も考えていく。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。